

令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績)

施策名 地域連携の充実

施策コード 5020202

1. 施策の担当	
主管課	教育部 教育総務課
関係課	学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり (子育て・教育)	節 第2節 学校教育
	施策	地域連携の充実	
基本方針			
・学校、地域、家庭及び関係機関が相互に連携を深めながら、地域社会全体が協働して、泉佐野の未来を担う子どもたちの「生きる力」を育成します。			
現況と課題			
・学校、家庭及び地域において、それぞれの又は総体としての教育機能を再構築することや、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、安全に生活できる地域コミュニティを形成することが求められています。			
施策目標			
対象 (誰を、何を、どこを)			
市民及び児童・生徒			
意図 (どのような状態にしたいのか)			
学校、家庭、地域社会が一体となり、児童・生徒の「生きる力」を育む。			

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	59.8						
重要度 (偏差値)	51.4						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	千円	H30決算	R元決算				
	事業費		6,838	2,152				
	フルコスト		6,214	1,253				
財源の内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		5,313	0				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		7,739	3,405				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		901	1,253				

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		フェスタ年間参加者数					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	5,000.0	5,000.0	4,246.0	4,323.0	4,382.0	4,441.0	4,500.0
実績値	4,146.0	3,998.0	3,865.0				
達成度	82.92	79.96	91.03				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
総合的教育力活性化事業を活用し、現在すべて中学校区に地域の教育力向上を目的とした地域教育協議会が設置され、4中学校区では、地域の関係機関・団体が力を合わせて、地域フェスタに取り組んでいる。この数値を指標とすることで、地域の人々と子どもたちのつながりぐあいや地域連携の強まりや深まりを示すものと考えている。		1校区のフェスタ参加者を目標1000人とし、実績を考慮しながら目標を設定した。今後もにおいても生徒数の減少が想定されるため目標値を再設定する必要がある。			小中学生の参画、人材の発掘、内容を一層の充実に向け努力することにより、持続しつつある。児童生徒数の減少とともに、中学校区により、児童生徒数が異なり、参加者数に影響が出ている。		



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	地域フェスタにおける地域の人々の参画意識は高まっている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	地域フェスタにおける、地域の人々の参画意識は高まっている。平成30年度市民アンケート調査の満足度(偏差値)が平成24年度より向上した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	少子化による低年齢層の減少により、利用者数の減少。地域教育協議会の活動に参画してもらえる新しい人材の確保。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	少子化や地域のつながりの希薄化等の社会的要因はあるが、学校が地域コミュニティづくりの拠点となるよう事業を推進していきたい。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R元年度決算額			R2年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01048000	教育研究事業	2,152	1,253	1,253	0	B
合計			2,152	1,253	1,253	0	